

記者発表（資料配布）		本紙を含めA4：3枚	
月／日（曜日）	担当部課名	電話番号	発表者名 （担当者名）
令和5年2月9日（金） 午前10時00分	情報政策課 広報室	0790-82-0690	

**第71回兵庫県広報コンクールで
佐用町が広報紙部門（町の部）で2年連続『特選』を受賞
県代表として全国広報コンクールに出品**

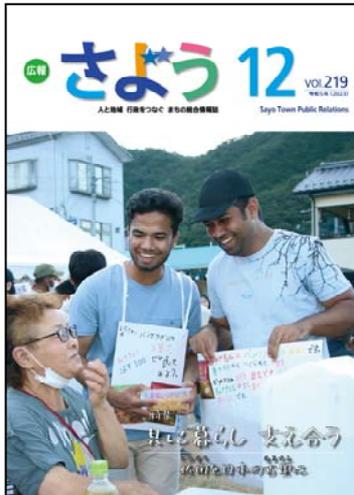
日ごろから本町の広報活動にご協力いただきありがとうございます。

県内各市町が令和5年中（1～12月）に発行・発表した各種広報媒体（広報紙・写真・映像作品）のうちから、優秀な作品を選び表彰する「第71回兵庫県広報コンクール」の各部門入賞作品が決定し、本町が広報紙部門（町の部）で2年連続特選となり、全国広報コンクールに出品されますのでお知らせします。

記

1. 受賞作品のあらまし

受賞したのは、少子高齢化の影響でさまざまな担い手不足が課題となる本町において、増加している外国人にスポットを当て、今後町民と外国人が共に暮らし、お互いに支え合える未来につながるきっかけになればと願い企画した「広報さよう」令和5年12月号です。



←広報さよう
令和5年12月号

2. 審査結果の詳細

(1) 主催

兵庫県、兵庫県広報協会

(2) 応募作品数

広報紙：町の部 5町、市の部 27市

一枚写真：29市町

組み写真：17市町

映像：16市町

(3) 審査講評

将来の日本の縮図を佐用町に見た。

外国人の割合が急増する中、さまざまな角度から現状を伝え、共感を育む特集にまとめた。日本語学校が外国人を呼び込み、その外国人が産業を支える担い手となる。地域は住まいとして空き家を活用し、集落の人らと支え合う。このサイクルが手に取るように分かる。「共に暮らし 支え合う」というタイトルが、実体を伴う確実な世界観として提示されている。12 ページの特集ならではのテーマで「対話」を生んでおり、住民同士の関係を円滑にするまさに広報紙の役割を果たしている。

3. 受賞歴

広報紙部門（町の部）の特選受賞は2年連続で、平成17年の合併以降12回目となります。また、組み写真部門の入選（佳作）は初めての受賞となります。

4. その他

(1) 受賞式

2月19日（木）に兵庫県農業共済会館で開催される「令和5年度兵庫県広報研究大会」で受賞式が行われます。

(2) 全国広報コンクール

受賞した作品は、兵庫県の代表として、令和6年4月に行われる「令和6年度全国広報コンクール」に推薦されます。なお、全国広報コンクールでは、平成21年に2席、平成23年に特選（総務大臣賞）、平成24年に入選、平成26年に2席（読売新聞社賞）、令和5年に2席（読売新聞社賞）に選ばれています。